

平成 23 年度 播磨町水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

本年度の給水業務状況は、給水装置数が前年比で 227 栓増の 15,070 栓、給水人口で 305 人(0.9%)増の 34,658 人となりました。なお、年間有収水量は、2,699 m³ (0.1%)減の 3,632,604m³ となり、給水装置数が増加したものの、家庭での節水意識の高揚が浸透し、昨年度より微減となりました。

水道施設の構築については新島地区の配水管増設工事を継続施工し、町道浜幹線配水管新設工事などを行いました。また第3浄水場においては、薬品設備改修工事を行いました。

経営状況(税抜)は、総収益が 540,198,870 円に対して、総費用が 547,312,063 円で、当年度純損失 7,113,193 円を計上しました。

水道事業収益の主なものは、水道料金 512,648,131 円で、収益全体の 94.9% を占めています。一方、水道事業費用の主なものは、企業債利息 38,043,523 円(6.9%)、減価償却費 201,869,786 円(36.9%)、職員給与費 59,863,722 円(10.9%)、県水受水費 60,835,680 円(11.1%)、動力費 33,379,821 円(6.1%) で費用全体の 71.9% を占めています。以上の結果、供給単価は 141.12 円、給水原価は 149.87 円になりました。

資本的収支(税込)の総収入額が 76,205,500 円に対して、支出が建設改良費 110,465,922 円、企業債償還金 88,805,867 円で、総支出額 199,271,789 円となりました。なお、不足の 123,066,289 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,649,994 円、建設改良積立金 18,000,000 円、過年度分損益勘定留保資金 103,416,295 円で補てんしました。

以上が、平成 23 年度における経営並びに事業実施の概要であります。今後におきましても、町民に清浄にして豊富低廉な水の安定供給を図るため、水源の確保と効率的な事業運営に取り組み、公共福祉の向上に努める所存です。